

学生が安心して学びに向き合う大学の基盤づくり

講師

森 朋子(桐蔭横浜大学 学長)

2020年度に桐蔭学園に着任。桐蔭横浜大学副学長を経て2022年度より現職。2024年度まで桐蔭学園小学校校長を併任。専門分野は高等教育における教学マネジメントと学習研究。ケルン大学哲学修士、大阪大学修士・博士(言語文化学)。今期は文科省第13期中央教育審議会委員、大学分科会質向上・質保証システム部会委員、大学設置・学校法人審議会特別委員、国大協事業実施委員会専門委員などを兼任。

島田 くみこ(高知工科大学 学生支援部就職支援課 課長)

高知工科大学(現 高知県公立大学法人高知工科大学)に入職後、入試・広報、学生支援関係、法人本部総務企画課長、同法人高知県立大学教務・学生支援課長を経て2025年より現職。高知県立大学では、先生方や健康管理センターの職員等と協働しつつ学生支援に取り組んでいた。東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース修士課程修了。日本高等教育学会所属。IDE現代の高等教育2017年6月号「大学職員の人材マネジメントに関する調査結果」を執筆。SPOD-SDCとして、主に大学職員を対象とした研修を実施。

井ノ崎 敦子(徳島大学 キャンパスライフ健康支援センター総合相談部門 講師)

専門は臨床心理学。公認心理師・臨床心理士。2011年に徳島大学学生相談室助教を経て、2016年より現職。徳島大学での学生相談、職員相談、ハラスメント対応の従事するとともに、学生対象のグループワークの運営や学内での教職員向けのハラスメント研修内容作成を行っている。学生相談、DV や性暴力女性に対する暴力被害者支援などの論文多数。

指定討論者

佐藤 浩章(東京大学 大学総合教育研究センター 教授)

専門は高等教育開発。博士(教育学)。愛媛大学大学教育総合センター教育システム開発部講師・准教授、教育・学生支援機構教育企画室准教授・副室長、大阪大学全学教育推進機構准教授、学際大学院機構教授を経て、2024年8月より現職。勤務校において、プレFDやTA研修の立ち上げを担当。

進行

吉田 博(徳島大学 高等教育研究センター 准教授)

プログラム概要

現在の大学には、多様な学生が進学してきており、コロナ禍を経た学生の学習観の変化やAI技術の発展による教育のあり方、社会の価値観も多様化しています。大学教育における多様性への対応については、効率化ときめ細やかな支援の両方が議論される中で、学生個人の主体的な学習への取組や学生生活全般への取組が一層求められています。授業、教育プログラムの充実に加え、正課外での学習支援や学生支援も必要とされており、学習環境の観点からは「心理的安全性」の必要性も指摘されています。

本シンポジウムは「学生が安心して学びに向き合う大学の基盤づくり」と題し、誰もが安心して学

びに向き合うことができる大学をつくるために、教育や学生支援の実践を含め、大学としての基盤を作るために必要なことを議論します。はじめに、講師から現代の大学に求められている教育や支援の在り方について、社会の多様化や問題意識など、総論的な背景を話題提供していただきます。続いて、学生支援の現場で担当者として、専門家として実践されている講師から話題提供を行います。そして、各講師の報告に対する指定討論者からの質問や問題提起をうけて、各講師が回答・解説した後に、参加者のみなさんも交えて、テーマに関する議論を行います。大学等においてさまざまな立場で、それぞれの業務に携わっている教職員にとって、これからの日常業務の中で取り組むべきことを考える機会になるでしょう。